

【プレスリリース】

マカフィー株式会社
2019年11月7日

法人向け次世代エンドポイントセキュリティソリューション 「McAfee MVISION EDR」を日本市場向けに本格展開開始

AI を活用して関連リスクを調査し、高度な脅威も未然に防御

マカフィー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中辰夫、以下マカフィー）は、AIを活用して関連リスクを調査し、高度な脅威も未然に防御可能な法人向けエンドポイントセキュリティソリューション「McAfee MVISION Endpoint Detection and Response（以下、MVISION EDR）」の日本市場に向けた本格展開を開始します。

サイバー脅威は巧妙化の一途を辿り、ファイルレス攻撃の台頭など従来のセキュリティ対策製品では検出が困難になり、気が付かないうちに侵入され、被害が発生するケースが見受けられます。そのような状況から、万が一、不正プログラムや不審な振る舞いが確認された際における迅速かつ的確な対応へのニーズが高まっています。

MVISION EDR は、従来の EDR 導入に伴う膨大なデータとアラートの発生、およびセキュリティ担当者に求められる分析と状況判断能力といった課題に対し、人と機械との連携により、セキュリティ関連の人員やスキルは現状のままで、より高精度で迅速な対応を可能にします。また、単一ビューにより、脅威の特定、該当データの把握、自動化による調査結果のレビュー、そして対策措置の一元的な実施・管理が可能で、あらゆるセキュリティ担当者が効果的・効率的に活用可能な環境を提供します。

さらに、MVISION EDR は高度な分析能力により、特に重要な意味のあるエンドポイントデータにおける不審な振る舞いを識別、優先順位付けを行い、自動的に綿密な調査を実施することで、セキュリティ担当者の業務負荷を軽減し、早期に対策を講じ、より幅広いセキュリティエコシステムへの統合が可能になります。

MVISION EDRの主な特長は、以下の通りです。

- **高度で迅速な調査解析**：世界中の複数の脅威経路にある10億を超えるセンサーから収集しているエンドポイントからの大量の情報（スナップショット）や脅威情報を組み合わせてAIを活用して高度な分析を行い、想定すべき広範囲の状況から、特に注視すべき事象の絞り込みを自動的に行います。
- **分析のためのガイド**：高度に可視化されたデータと経験者が有する洞察を推奨ガイドとして提供するため、経験の浅いセキュリティアナリストを補助し、分析と判断を上級レベルに引き上げ、同時にスキルの向上にも貢献します。
- **導入しやすい形態および価格設定**：SaaS形式での提供のため、短期間に容易に導入が可能です。またMVISIONのラインナップとして提供することで、従来の単体EDR製品と比較して導入しやすい価格帯を実現しました。

MVISION EDRは、昨年、米国MPOWERにて初公開、試験的な運用を経て、今期より日本での本格展開を開始します。MVISION PlusにEDRを含む形のSKUなどを提供し、積極的な市場展開を図っていきます。

詳細は、こちらのリンクをご参照ください：

- [McAfee MVISION EDR](#)

マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を越えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。

詳細は <https://www.mcafee.com/ja-jp/> をご覧ください。

* McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における McAfee, LLC の商標又は登録商標です。

* その他の会社名、団体名、製品名やブランドは、該当各社の商標又は登録商標です。

<本情報のお問い合わせ>

マカフィー株式会社（<https://www.mcafee.com/ja-jp/>）

広報担当 戸田

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 階

Tel: 03-5428-1226 Fax: 03-5428-1480

hiromi_toda@mcafee.com